

Q スマート自治体実現 のために

いずもびんたろう
出雲敏太郎 議員



A 業務のICT化を進めていく

問 押印廃止の状況は。

答 押印を要する申請書等が1263件で、そのうち廃止できないものが約半数あった。残りの半数についても随時見直し、今年度中に一定程度の押印を廃止する方向で進めていきたい。

答 昨年度から、ICTを活用

した業務改善を進めている。今後も全庁的に情報共有できるよう、デジタル化を進めていく。

問 職員のデータ活用能力向上の取組は。

答 スキル向上のための研修が必要だと考えている。また、各課に配置している、ICT化を推進する職員を通じて、今後情報等の周知を図っていく。



問 マインナンバーカードには、「コンビニで各種証明書を取得できる」、「令和3年3月から健康保険証として使える」等のメリットがある。利便性の周知を。

答 現在、国がキャンペーン等を実施し、普及を促進している。今後は、市でも国と併せて利便性を市民にPRしていく。

◎その他の質問

- 一 公園整備の推進について
- 二 下新田第三につるワゴンを

Q 市長の「まちづくり論」

はせがわ きよし
長谷川 清 議員



A 安定した市政を進める

問 市長の市政経営論は。

答 市政経営で最も大切にしていくことは、安定した市政を進めることである。

問 市長の行財政改革論は。

答 全職員が、財源の確保と効果的、効率的な事業執行を徹底することが基本である。

問 市長の人材育成論は。

答 人材育成は、全ての経営資源を最大限に生かすために欠かせないのでない視点である。

問 市長の議会対策論は。

答 相互にけん制、協力し合うことにより、公正な行政を確保し、市民の意思を尊重した、より良い市政の実現を目指すことができるものと考えている。



問 市長は、何を重要課題と考えて、それをどのように解決していこうとしているのか。市長の具体的な政策を聞きたい。

答 市民がコロナ禍にあっても安定して鶴ヶ島に住んでいられる。そういった状況をつくっていくことが大事であり、これが私が考えている安定した市政運営である。

多くの課題がある中で、何か一つのことだけに取り組むことは、市政運営において良くないと考えている。全てのことを円滑に、少しでも大きく進めていくことが私の仕事である。